

1. 基本情報

基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	2 芸術・文化の普及・振興		
施策の方向性	●様々な文化に触れるためのイベント等を開催するとともに、文化団体相互の連携を推進し、発表機会の提供や活動の支援を通じて、町内における芸術・文化活動を推進します。 ●文化財の保存と活用を図り、府中町の歴史・文化等を発掘するとともに、体験、学習による普及・啓発を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	芸術文化イベント参加者及び活動者数	人	目標値		437	447	457	467	470
			実績値	427	424	409	419		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

「ふるさと再発見講座」の参加者を対象に実施するアンケート調査の結果は概ね良好で、参加者数は年々増加しています。また、あきふちゅう文化協会会員数も微増しています。令和元年度に行う次期府中町教育振興基本計画の策定に合わせて未達成の要因を分析し、イベントの情報発信などについて改善を図る必要があります。

・評価及び対応方針

公民館や歴史民俗資料館のリニューアルへ向け、館の運営や歴史文化の情報発信を工夫する必要があります。

作成担当部長 教育部長 榎並 隆浩

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値未達成ですが、目標値到達率は80%を超えていることから、概ね達成と見なします。引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	文化財保護事業	2, 514
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	文化財一般事務事業	610
		2	歴史民俗資料館管理運営事業	2, 581
		3	生涯学習推進事業	550
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				6, 255

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	文化財保護事業	事業番号	222101
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2 学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	2 芸術・文化の普及・振興		

2. 事業概要

町内の文化財の発掘調査や保存を行うとともに、歴史・文化に関する体験、学習の機会を提供し、町の歴史・文化の普及、啓発を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 普及・啓発事業として「ふるさと再発見講座」を実施するなど文化財保護事業を行います。 ○ 下岡田遺跡において、重要遺構確認のため、引き続き試掘やレーダー探査等による調査を実施します。	○ ふるさと再発見講座を実施しました。 ○ 地中レーダー探査を実施しました。地権者の同意が得られず、試掘は未実施ですが、過去の出土遺物（当町及び広島大学保管分）の再整理による遺跡の性格調査を実施しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	ふるさと再発見講座参加者数	人	目標値	91	96	101	106	111
			実績値	99	117	125		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		町の歴史文化の普及振興を図ることが目的のため、ふるさと再発見講座参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,553	1,088	0	0	0	1,465
決算	2,514	1,000	0	0	0	1,514

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

毎年府中町の歴史講座を開催していることが町民に知られてきており、新規参加者の開拓に成功しました。また、内容についても、身近な歴史文化に触れることができる点が評価され、毎年参加してもらえる固定ファンも地道に増えてきています。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

受講者の満足度を高めリピーターを確立しつつ、広報活動を工夫することにより新たな参加者の獲得に努めていきます。

作成担当課長

社会教育課主幹 渡邊 昭人

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

これまでの地道な活動が評価され、事業目標も達成できました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

今後は、歴史民俗資料館のリニューアルへ向け、広報活動の積極的な推進を図ります。

作成担当部長

教育部長 榎並 隆浩

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。